

海外安全対策情報（令和2年度第4四半期分）

1. 社会・治安情勢

令和元年11月15日、イラン政府がガソリン価格の引上げを発表したことに伴い、イラン各地において、数日間に亘って抗議行動が発生し、一部地域においては、ガソリンスタンド、銀行、政府施設等が襲撃されたと報じられました。イラン政府は、これを受けて、治安回復のための厳しい措置を徹底し、さらに全面的にインターネット接続を遮断するなどして事態の沈静化を図りました。しかし、イラン政府の発表によれば、この抗議行動で230名が死亡した由であり、大きな被害が生じました。また、テヘラン州、フーズスタン州等の複数地域においては、給与未払問題等の経済問題に端を発した抗議行動も引き続き発生しています。

イラン国内におけるテロ・襲撃事件については、平成29年6月7日にテヘラン市内の国会事務所建物内及びイマーム・ホメイニ廟周辺において、複数の武装グループによる銃撃や自爆攻撃により18名が死亡、約50名が負傷する事件が発生しました。また、平成30年9月22日には、南西部フーズスタン州アフヴァーズ市において、軍事パレードに対する銃撃事件（25名が死亡、60名以上が負傷）が発生しました。その後、南東部、南西部含むイランの南部地域においては、襲撃事案等が断続的に発生し、同年12月6日には南東部シスタン・バルチスタン州チャーバハール市の警察本部に対する自動車爆弾攻撃が発生（治安機関員2名が死亡）、平成31年2月13日には同州ハーシュ市～ザヘダン市間の道路において、革命ガードのバスに対する自爆攻撃（車両利用）が発生（革命ガード兵27名死亡）するなどしました。武装組織・テロ組織と治安機関の戦闘が散発している北西部及び西部を含め、今後の同地域におけるテロ・グループの動向を引き続き注視する必要があります。テヘランにおいても、令和2年8月7日には、テヘラン市パスダラン地区における銃撃事件が報じられ、同年11月27日には、テヘラン東方約60kmの距離に位置するダマーヴァンド市付近で、ファフリザーデ国防軍需省研究刷新機構長官の殺害事件が発生しています。

また、依然として、殺人、強盗、窃盗、性犯罪等の一般犯罪の発生もイラン国内の広い範囲で多々報じられていることから、イラン国内における行動については、十分に注意が必要です。

さらに、最近のイランをめぐる国際情勢及び新型コロナウイルス（COVID-19）の感染状況についても十分注意が必要です。

安全関連情報等については、当館から必要に応じて注意喚起情報を発出しておりますが、定期的に最新の報道や当館又は外務省海外安全ホームページをご確認いただくなど、自らの安全確保のための情報収集に心掛けてください。

2. 一般犯罪の傾向

(1) 概要

イランでは、犯罪発生件数に関する統計が公表されていませんが、各種報道によると、日常的に一般犯罪が発生しているものと考えられます。邦人に対する主な被害として、強盗（偽警察官による強盗、けん銃及び刃物を使用した強盗等）、窃盗（ひ

ったくり、スリ、空き巣、忍込み等)等の事件が発生しております。また、観光客の少ない地方都市において、外国人女性の一人旅を狙った性犯罪が発生していることから、地方都市においては、女性の単独行動は極力控えるなどの注意が必要です。最近の一般犯罪に関する報道は以下のとおりです。

- 1月9日付の報道によると、1月5日午前8時20分、水道局員の服を着た窃盗目的の男2名が水道メーターの検診を装ってテヘラン市南東部ハーヴァラーン地区の一軒家を訪れた。同一軒家に住む65歳の女性が同男2名を庭に通し、男が水道代金の領収書を持ってくるように女性に依頼したため、女性が家の中に戻ったところ、男2名も一緒に家の中に入ってきたことから、女性は抵抗し、騒ぎを知った隣人らの協力を得て、窃盗目的の犯人2名は逮捕された。
- 1月9日付の報道によると、12月5日早朝、テヘラン市内の公園で運動していた女性がナイフを所持した男に金品を出せと脅迫されたところ、周囲にいた市民が集まり、男は逮捕された。男は5件の余罪を供述し、早朝公園で運動していた女性から貴金属、携帯電話を強取していたことを供述した。
- 1月12日付の報道によると、テヘラン市内アーザーディー広場の近くでタクシー待ちをしていた男性が、運転手と他2名が乗車した車両を停車させ、行き先を告げて乗車したところ、同乗者2名にナイフで脅され、携帯電話、デイパック、財布及びキャッシュカードを強取された。また、キャッシュカードの暗証番号も聞き出され、車両から降ろされた。その後、同キャッシュカードが貴金属店やガソリンスタンドで使用されたことが明らかになった。
- 3月4日付の報道によると、テヘラン州等において、夜間不在中の家屋の扉をバールで破壊して侵入し、現金、貴金属、骨董品、電気製品等を窃取し、また、警察官を装って恐喝等も行っていた窃盗団4名が逮捕された。4名は48件の事件を自供した。
- 3月14日付の報道によると、テヘラン地下鉄警察は、昨年(イラン暦1399年)中、テヘランの地下鉄内において、スリ(現金、携帯電話等)、恐喝、強盗等の犯人245名を逮捕したと発表した。テヘラン地下鉄警察は、地下鉄内における物売りは、スリ犯の可能性があるので特に注意するように注意喚起している。

(2) 邦人被害事案

第4四半期中における邦人被害の報告は以下のとおりです。

- 3月26日午後6時30分頃、テヘラン市内シャリアティ通りの英国大使館庭園付近の歩道上でタクシー待ちをしていた在留邦人が歩いて近づいてきた20～30歳位のイラン人風の男に携帯電話をひったくられた。

3. テロ事件等発生状況

(1) テヘラン市内

テヘラン市内では、平成29年6月7日に発生したI S I Lによるテロ以降、テロ関連事件の発生は報じられていませんでしたが、第4四半期中には以下の事件が報じられました。

- 2月24日、テヘラン南部の高速道路の料金所において、リモート式自爆ベスト

を用いてテロを実行しようとした男が逮捕された。

(2) 北西部及び西部イラク国境付近

北西部及び西部イラク国境地域では、クルド人独立国家の建設を目指す「P J A K (クルド自由生活党)」等による治安部隊等を標的としたテロが散発しておりますが、最近も以下の事件が報じられました。

- 2月24日付の報道によると、23日、イラン情報省は、革命ガードとの協力により、西アゼルバイジャン州ピーランシャフルにおけるテロを企図し、監視下におかれていたクルディスタン州に拠点を置くテロリスト2名を殺害した。死亡したテロリスト2名はカラシニコフ2丁、手榴弾及び弾薬を所持していた。
- 2月27日付の報道によると、同日、イラクとの国境に近いイーラーム州ダルシャフル地区の橋の上において、警察官が銃撃を受け、1名が死亡、1名が病院への搬送中に死亡した。

(3) 南東部パキスタン国境付近

南東部パキスタン国境地域には、「ジェイシュ・アルアドル」、「アンサールル・フォルガン」と称するバルーチ系スンニ派反政府組織等が存在し、同組織らによる治安部隊等を標的としたテロが散発しておりますが、最近も以下の事件が報じられました。

- 3月21日付の報道によると、同日、シスタン・バルチスタン州サラヴァーン市内の広場で爆発が発生し、市民1名が死亡、3名が負傷した。

(4) 南西部

南西部には、「アル・アフワーズ」と称するアラブ系反政府組織等が存在し、過去同組織らによる治安部隊等を標的としたテロが発生していますが、最近も以下の事件が報じられました。

- 3月6日付の報道によると、4日、アフヴァーズ発マシュハド行きの航空機がハイジャックされそうになったが、イスファハンに緊急着陸し、犯人は逮捕された。
- 3月28日付の報道によると、26日、分離主義テロ組織と接点を有するテロ・グループが、フーズスタン州シューシュ地方の軍及び警察施設への侵入を企図し、同施設を銃撃したが、警備兵がテロリストの侵入を阻止した。テロリスト2名が負傷し、内1名は病院への搬送中に死亡した。

4. 抗議行動発生状況

令和元年11月15日、イラン政府がガソリン価格の引上げを発表したことに伴い、イラン各地において抗議行動が発生しました。令和2年度第4四半期中には、テヘラン州、セムナン州、ファールス州、フーズスタン州等の都市において、給与未払い、年金増額等を訴える抗議行動が発生しました。今後も経済制裁や新型コロナウイルスの影響による経済状況悪化に伴う抗議行動の発生や、地方において発生した抗議行動がテヘラン市を含む各地に飛び火する可能性は否定できませんので、抗議行動関連の動向には引き続き注意が必要です。

5. 誘拐・脅迫事件発生情報

(1) 誘拐事件

第4四半期中、外国人が誘拐事件の対象となったとの情報はありません。

(2) 脅迫事件

第4四半期中、外国人が脅迫事件の対象となったとの情報はありません。

6. 日本企業の安全に関わる諸問題

現時点では、当地における日本企業及び外国企業を対象とした脅威は特段見られません。ただし、上述のとおり、今後、国内各都市で発生する抗議行動が、テヘラン市を含む各地に飛び火する可能性は否定できないため、抗議行動関連動向には引き続き注意が必要です。冒頭に記載したとおり、定期的に最新の報道や当館又は外務省海外安全ホームページをご確認いただくなどして、自らの安全確保のための情報収集を心掛けてください。